

近畿本部 情報工学部会 10月度例会の案内

◇日時：2018年10月13日(土)13時～17時

◇場所：野上ビル2階 (地下鉄四ツ橋下車 北方向へ徒歩5分)

大阪府中央区博労町4-5-6

(<https://maps.google.com/maps?q=34.6785765,135.4987348>)

◇会費：日本技術士会会員(1000円)、未入会者(2000円)、学生(無料)

<プログラム>

1. 運営(幹事)会 13:00～13:40

◇本年度幹事(敬称略、順不同)

天野、加賀谷、鍛冶、川本、佐藤(力)、隅田(清)、野原、東山、柏原、北村、本多、榭一、山口

2. 講演 14:00～15:15 鍛冶 秀美 技術士

『システム運用 ヒューマンエラー対策』 ～仕事のやり方を変える！～

(概要) ヒューマンエラー(HE)はなくなる(「うっかりミスは起こる」が大前提)。人が作ったり決めたりした業務や作業に、完全なものなど存在しない。対策の基本は、仕事のやり方を変えること。「竹やり精神型対策」(精神論)では、対策にならない。

現場担当者の負担ばかり増やして、ルールでがんじがらめにし、ミスを減らそうとする発想はNG。異常に「気づける」工夫を考え、仕事のやり方を変えることが必要。

また、原因の分析や対策を講じることも重要であるが、個々のエラーの再発を防ぐ(再発防止)だけでは不十分であり、ヒヤリ・ハットを隠さず、抵抗なく報告できるような風土の醸成など、部分的な修正ではなく、継続的な改善を狙う。

エラー全体を削減し、エラーを予防するような継続的な取り組みが必要である。

3. 講演 15:25～16:40 本多 利行 技術士

『測位技術、測位技術を支える周辺技術』

(概要) GPSの測位技術は今の社会システムを支えるインフラ技術の一つである。

今回の講演では測位技術を支える要素技術に着目する。

例えばGPS衛星は全て同じ周波数帯で信号を発信している。これによってGPS受信機に搭載する無線受信回路は一つで実現できる。ここには多くのGPS衛星からの無線信号からターゲットとなるGPS衛星の信号を抽出する仕組みがある。他にGPS衛星の信号でより高速により正確に位置情報を確定する仕組みがある。

このような様々な要素技術を分かり易く取り上げて説明する事で、どの様にして測位技術が成り立っているかを説明する。

4. 16:40～ 連絡事項

5. 17:00～ 懇親会

会場：「いつもの処」大阪市西区新町1-8-22



11月例会は11月10日予定です。

[問合せ：info@jyouhou.ipej-knk.jp]